

II 調査結果

1.県内大学生

(上段:人、下段:%)

		専攻分野												合計
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	芸術	その他	不明	
性別	男性	19	108	110	323	-	33	48	1	54	5	30	47	778
		2.4	13.9	14.1	41.5	-	4.2	6.2	0.1	6.9	0.6	3.9	6.0	100.0
性別	女性	78	54	47	55	-	107	33	-	108	41	34	21	578
		13.5	9.3	8.1	9.5	-	18.5	5.7	-	18.7	7.1	5.9	3.6	100.0
出身地	富山県	39	69	34	134	-	54	12	-	110	13	50	46	561
		7.0	12.3	6.1	23.9	-	9.6	2.1	-	19.6	2.3	8.9	8.2	100.0
	石川県	22	25	21	55	-	12	-	1	29	11	4	2	182
		12.1	13.7	11.5	30.2	-	6.6	-	0.5	15.9	6.0	2.2	1.1	100.0
	福井県	6	6	6	11	-	2	3	-	3	4	2	-	43
		14.0	14.0	14.0	25.6	-	4.7	7.0	-	7.0	9.3	4.7	-	100.0
	新潟県	5	10	10	10	-	6	4	-	3	1	-	1	50
		10.0	20.0	20.0	20.0	-	12.0	8.0	-	6.0	2.0	-	2.0	100.0
	東京都	-	-	-	2	-	9	1	-	-	2	-	-	14
		-	-	-	14.3	-	64.3	7.1	-	-	14.3	-	-	100.0
その他首都圏	3	2	13	9	-	10	11	-	2	4	-	2	56	
	5.4	3.6	23.2	16.1	-	17.9	19.6	-	3.6	7.1	-	3.6	100.0	
中部地域	8	16	34	94	-	12	9	-	7	1	1	8	190	
	4.2	8.4	17.9	49.5	-	6.3	4.7	-	3.7	0.5	0.5	4.2	100.0	
京阪神	3	4	10	9	-	13	7	-	2	2	2	2	54	
	5.6	7.4	18.5	16.7	-	24.1	13.0	-	3.7	3.7	3.7	3.7	100.0	
その他	11	19	29	47	-	22	34	-	6	7	2	4	181	
	6.1	10.5	16.0	26.0	-	12.2	18.8	-	3.3	3.9	1.1	2.2	100.0	
海外	-	11	-	7	-	-	-	-	-	1	3	3	25	
	-	44.0	-	28.0	-	-	-	-	-	4.0	12.0	12.0	100.0	
全体	97	162	157	378	-	140	81	1	162	46	64	68	1,356	
	7.2	11.9	11.6	27.9	-	10.3	6.0	0.1	11.9	3.4	4.7	5.0	100.0	

(1) 富山県に進学した理由

Q1. 【場所】富山県に進学した理由は何ですか。

県内出身者の 7 割強は、「地元の大学を希望」して富山県に進学している

県内出身者 561 人に富山県に進学した理由を尋ねたところ、「地元の大学を希望」が 74.5%と最も多く、次いで「場所にはこだわらないが、大学選択の結果」が 19.8%、「その他」が 3.9%となっている。

県外出身者 795 人に富山県に進学した理由を尋ねたところ、「場所にはこだわらないが、大学選択の結果」が 65.4%と最も多く、次いで「実家から遠くない富山県の大学を選んだ」が 25.9%、「その他」が 5.3%となっている。

図 1-1-1 富山県に進学した理由(県内出身者)

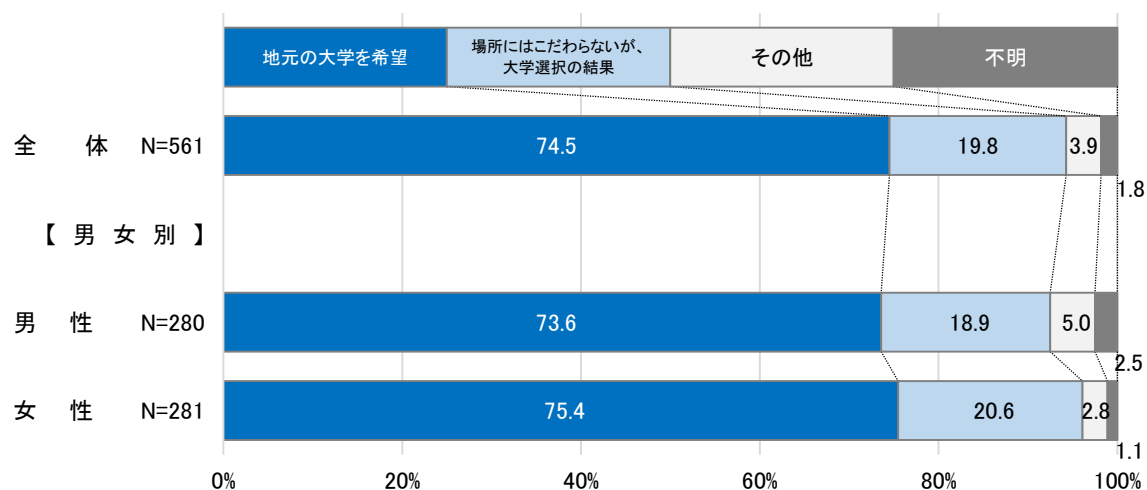
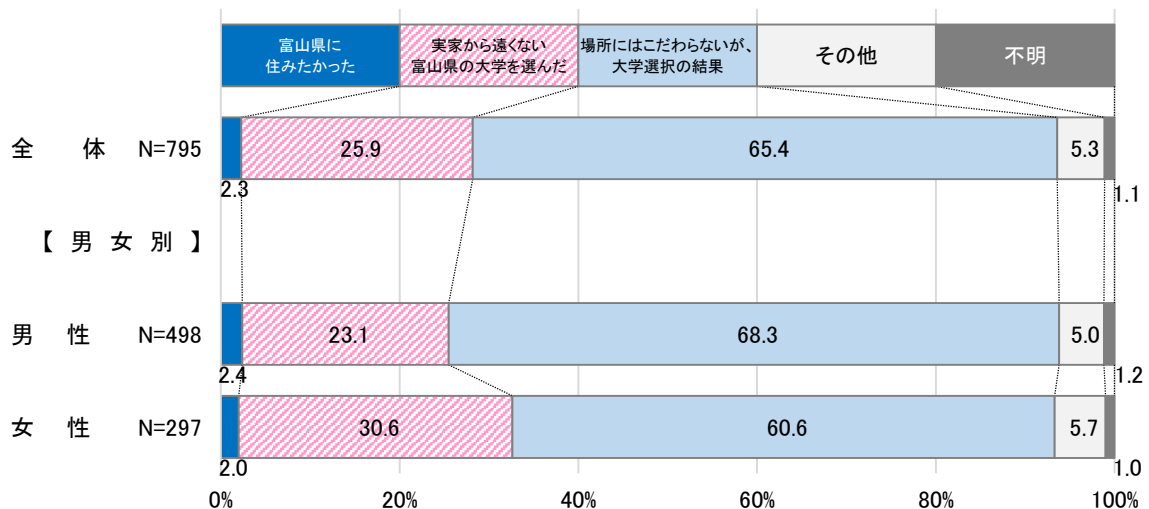


図 1-1-2 富山県に進学した理由(県外出身者)



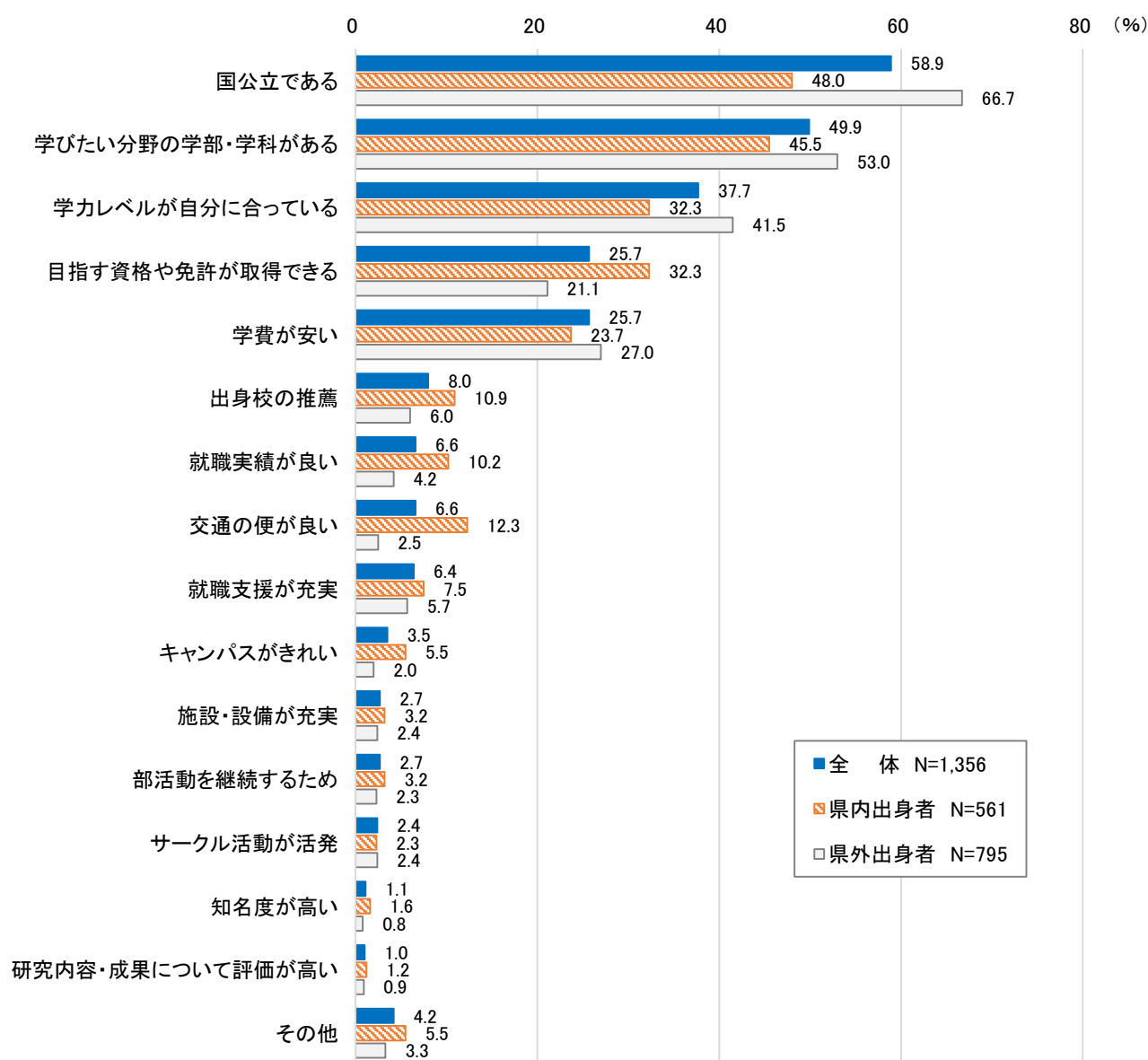
(2) 現在の大学を選んだ理由

Q2. 【大学】現在の大学を選んだ理由は何ですか。

現在の大学を選んだ理由は、「国公立である」が約6割と最も多い

現在の大学を選んだ理由を尋ねたところ、「国公立である」が58.9%と最も多く、次いで「学びたい分野の学部・学科がある」が49.9%、「学力レベルが自分に合っている」が37.7%、「目指す資格や免許が取得できる」と「学費が安い」が25.7%となっている。

図 1-2 現在の大学を選んだ理由 N=1,356 【複数回答】(該当するものすべて)



(3) 大学選択の際に参考にした意見

Q3. 大学を選ぶ際、誰の意見を参考にしましたか。

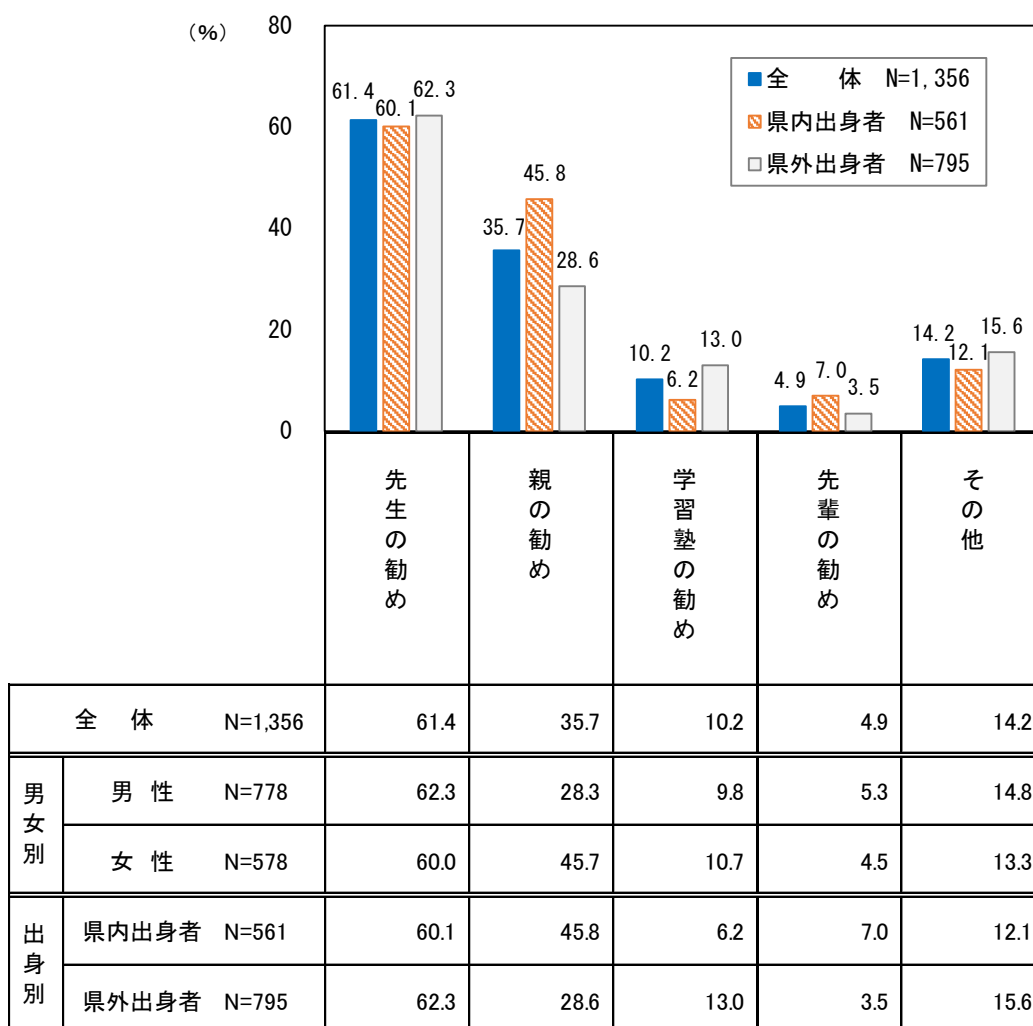
大学選択の際に参考にした意見は、「先生の勧め」が6割と最も多い

大学選択の際に参考にした意見を尋ねたところ、「先生の勧め」が61.4%と最も多く、次いで「親の勧め」が35.7%、「学習塾の勧め」が10.2%となっている。「その他」としては、「誰の意見も参考にしなかった」、「自分自身で決めた」等の回答が多く見受けられた。

男女別にみると、女性は、「親の勧め」が45.7%と男性に比べて17.4ポイント多くなっている。

出身別にみると、県内出身者は、「親の勧め」が45.8%と県外出身者に比べて17.2ポイント多くなっている。

図 1-3 大学選択の際に参考にした意見 N=1,356 【複数回答】(該当するものすべて)



(4) 富山県の住みやすさ

Q4. 富山県は住みやすい県だと思いますか。

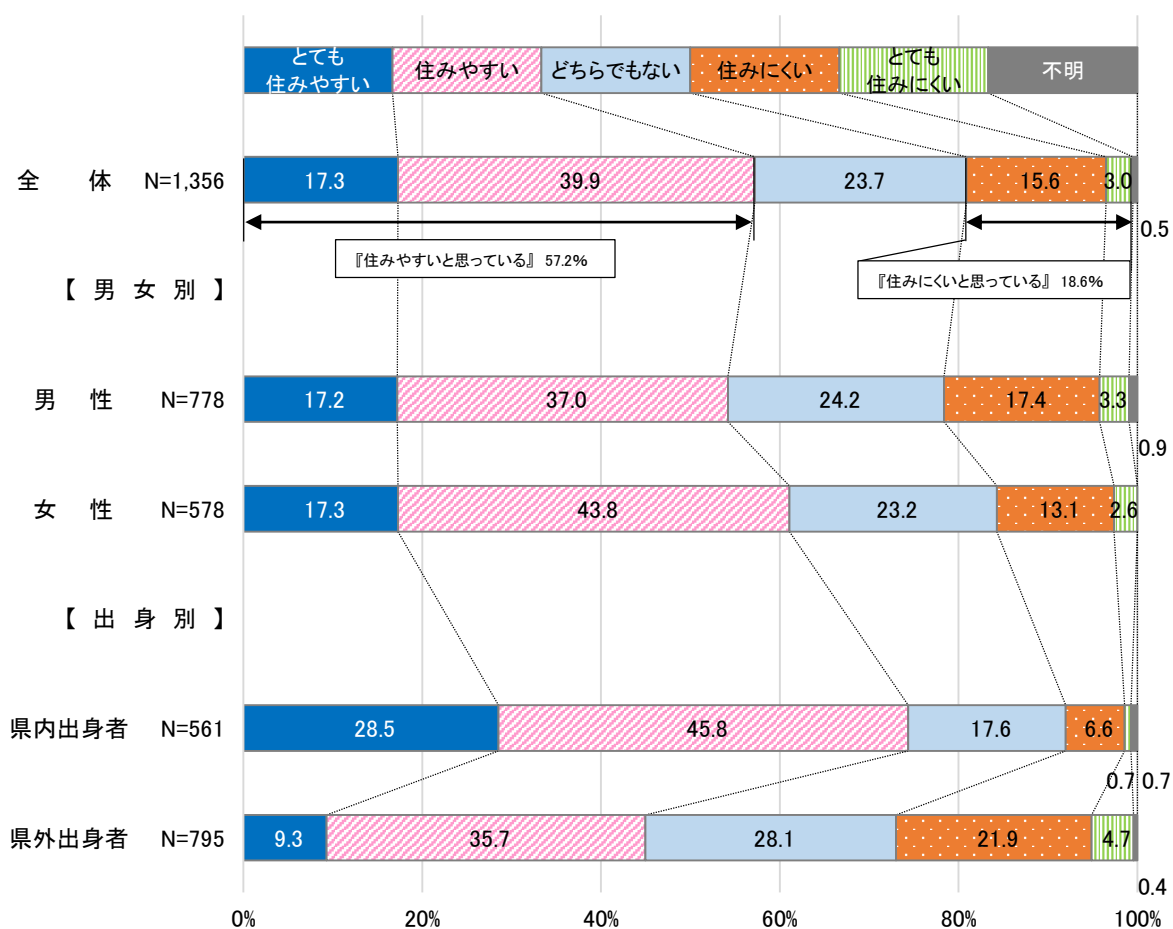
県内出身者の7割強が富山県は住みやすいと思っている

富山県の住みやすさについて尋ねたところ、「とても住みやすい」が17.3%、「住みやすい」が39.9%、「どちらでもない」が23.7%、「住みにくい」が15.6%、「とても住みにくい」が3.0%となっている。

男女別にみると、女性は、「住みやすい」が43.8%と男性に比べて多くなっており、『住みやすいと思っている(「とても住みやすい」+「住みやすい」)』が6割を超えている。

出身別にみると、県内出身者は、『住みやすいと思っている』が74.3%と多くなっているが、一方、県外出身者は、45.0%と低くなっている。

図 1-4 富山県は住みやすいと思うか



○具体的な理由 (主なもの)

「とても住みやすい」「住みやすい」

- ・食べ物おいしい
- ・自然が豊か
- ・自然災害(台風、地震)が少ない
- ・犯罪が少ない

「住みにくい」「とても住みにくい」

- ・交通の便が悪い
- ・車がないと不便
- ・気候(天気が悪い日が多い、雪が降ると不便)

(5) 富山県に住んでよかった点

Q5. 富山県に住んでよかった点は何ですか。

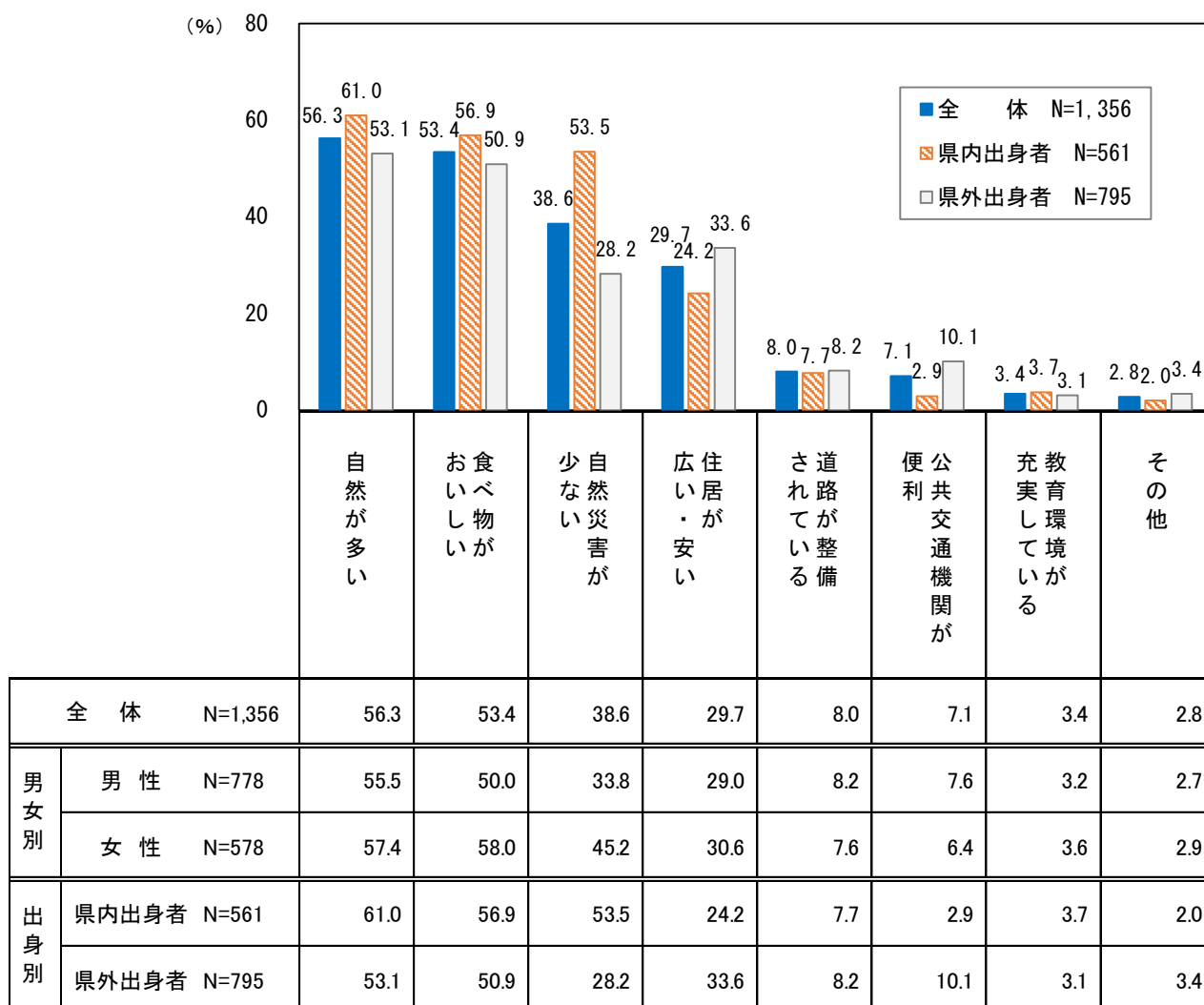
富山県に住んでよかった点は、「自然が多い」が5割強と最も多い

富山県に住んでよかった点を尋ねたところ、「自然が多い」が56.3%と最も多く、次いで「食べ物おいしい」が53.4%、「自然災害が少ない」が38.6%となっている。

男女別にみると、女性は、「自然災害が少ない」が45.2%と男性に比べて11.4ポイント多くなっている。

出身別にみると、県内出身者は、「自然が多い」、「食べ物おいしい」、「自然災害が少ない」等が県外出身者に比べて多く、一方、県外出身者は、「住居が広い・安い」、「公共交通機関が便利」等が県内出身者に比べて多くなっている。

図 1-5 富山県に住んでよかった点 N=1,356 【複数回答】(該当するもの3つまで)



(6)富山県での暮らしで不便な点

Q6. 富山県での暮らしで不便な点は何ですか。

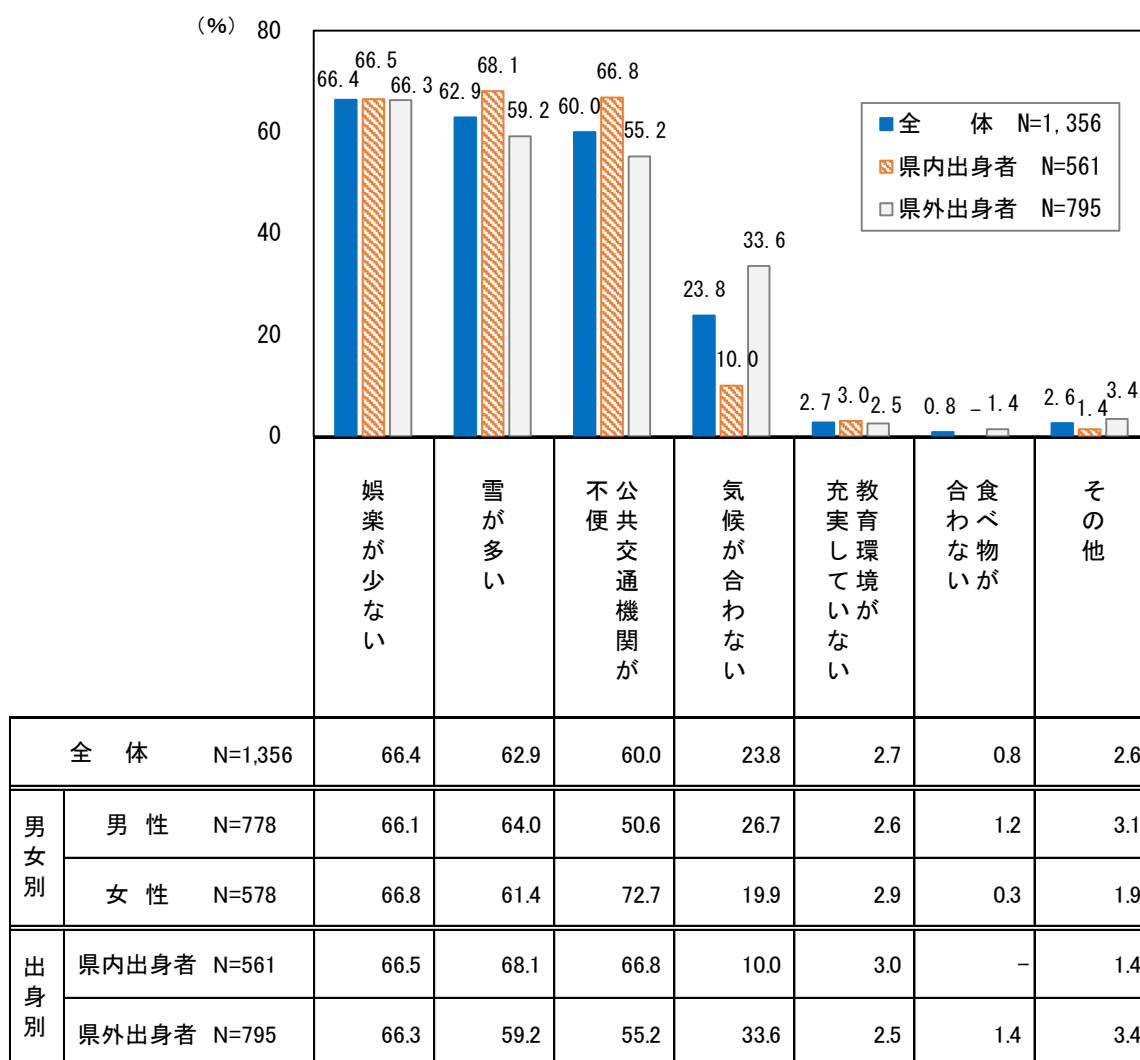
富山県での暮らしで不便な点は、「娯楽が少ない」が6割強と最も多い

富山県での暮らしで不便な点を尋ねたところ、「娯楽が少ない」が66.4%と最も多く、次いで「雪が多い」が62.9%、「公共交通機関が不便」が60.0%となっている。

男女別にみると、女性は、「公共交通機関が不便」が72.7%と男性に比べて22.1ポイント多くなっている。

出身別にみると、県内出身者は、「公共交通機関が不便」が66.8%と県外出身者に比べて11.6ポイント多くなっている。

図 1-6 富山県での暮らしで不便な点 N=1,356 【複数回答】(該当するもの3つまで)



(7) 希望する働き方

Q7. 働き方に関するAとBの意見のうち、あなた自身の意見に近いのはどちらですか。

①雇用形態の希望

A：正社員にこだわりたい

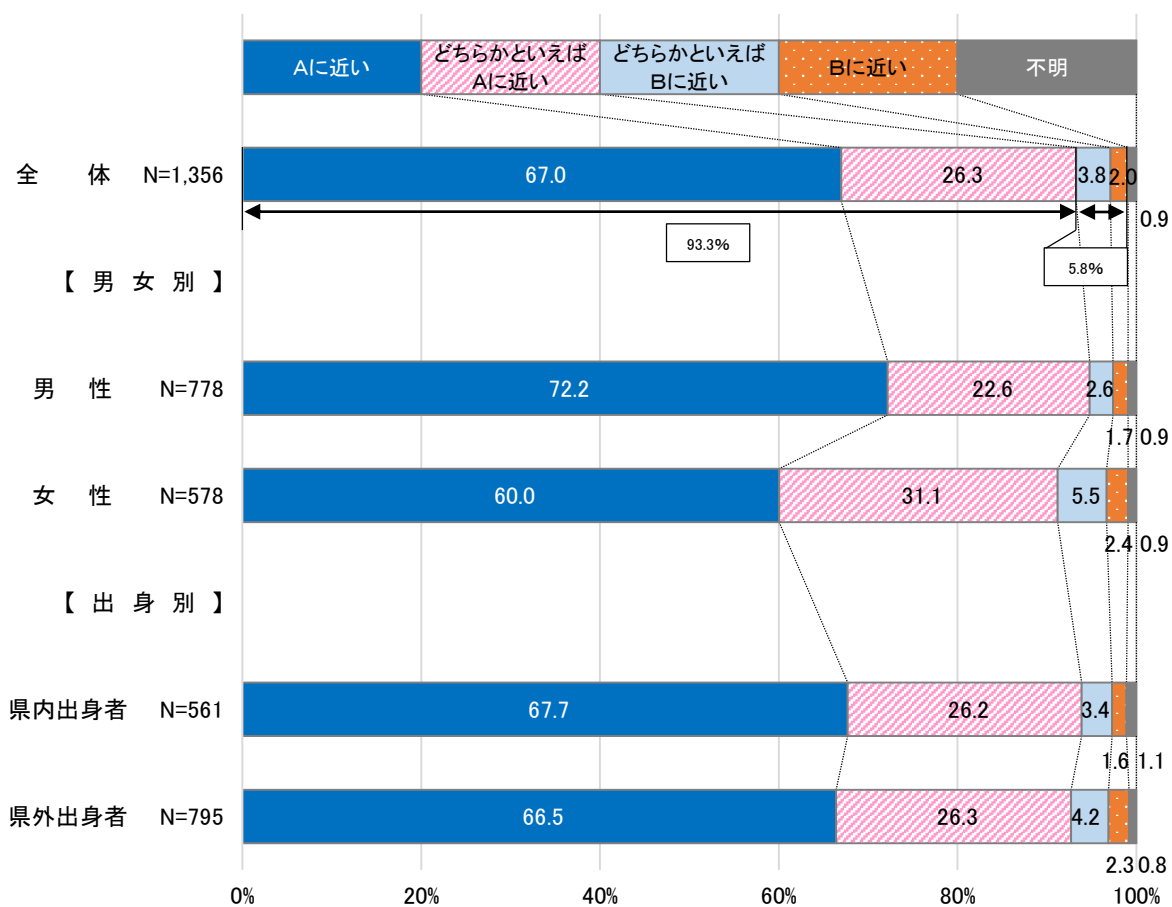
B：正社員にこだわらず、非正規やフリーターでもよい

全体の9割強は「正社員にこだわりたい」という考え方に近い

雇用形態について、「A:正社員にこだわりたい」、「B:正社員にこだわらず、非正規やフリーターでもよい」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「Aに近い」が67.0%、「どちらかといえばAに近い」が26.3%となっており、合わせて93.3%となっている。

男女別にみると、男性は、「Aに近い」が72.2%と女性に比べて12.2ポイント多くなっている。

図 1-7-1 雇用形態の希望



②転職に対する考え方

A：自分に向かないと思っても、一つの会社で働き続けたい

B：自分に向かないと思ったら、転職するつもりだ

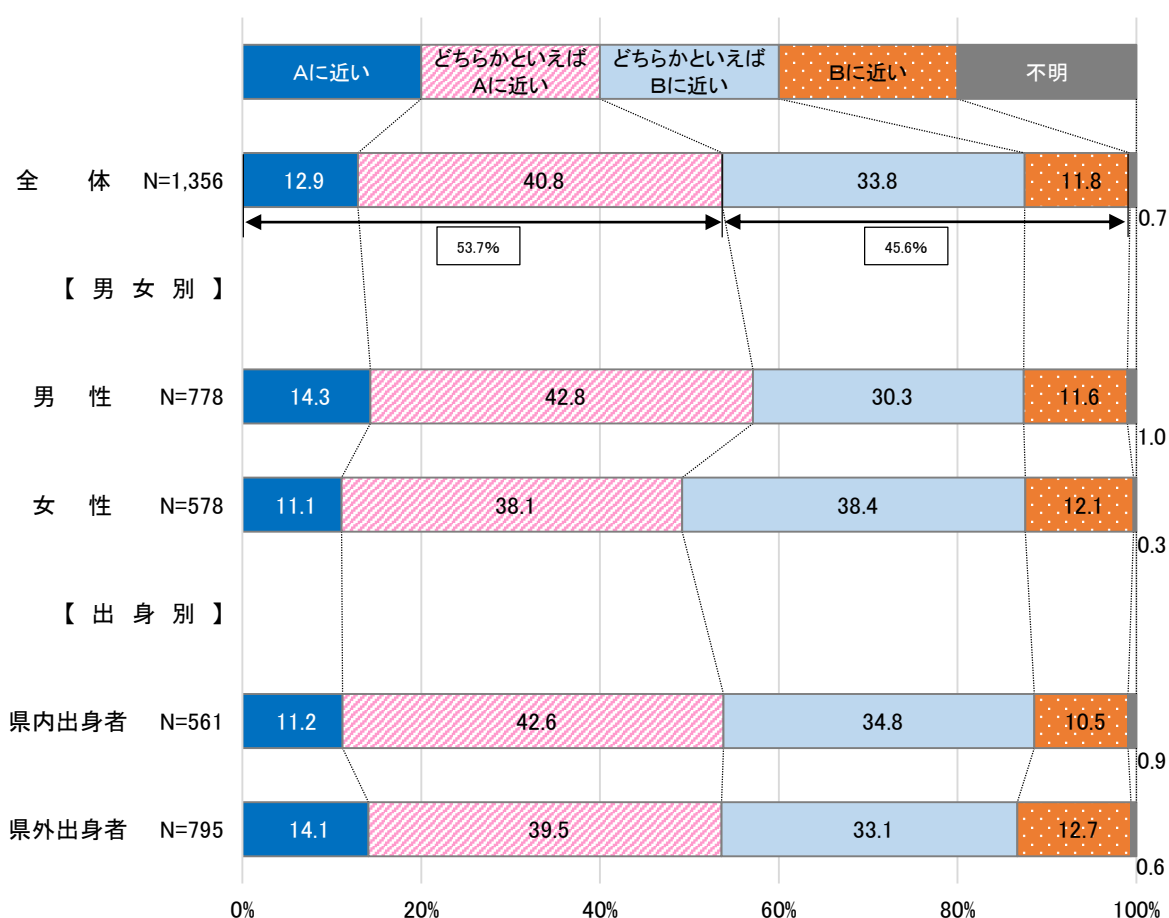
全体の5割強が「自分に向かないと思っても、一つの会社で働き続けたい」という考え方に近い

転職に対する考え方について、「A:自分に向かないと思っても、一つの会社で働き続けたい」、「B:自分に向かないと思ったら、転職するつもりだ」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「どちらかといえばAに近い」が40.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばBに近い」が33.8%となっている。

また、「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」12.9%の計は53.7%となっており、「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」11.8%の計(45.6%)より8.1ポイント多くとなっている。

男女別にみると、女性は、「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」の計(50.5%)と「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」の計(49.2%)は約半々だが、男性は「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」の計が57.1%となっており、「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」の計(41.9%)より15.2ポイント多くとなっている。

図 1-7-2 転職に対する考え方



③収入と余暇のバランス

A：余暇を犠牲にしても、経済的に豊かな生活をしたい

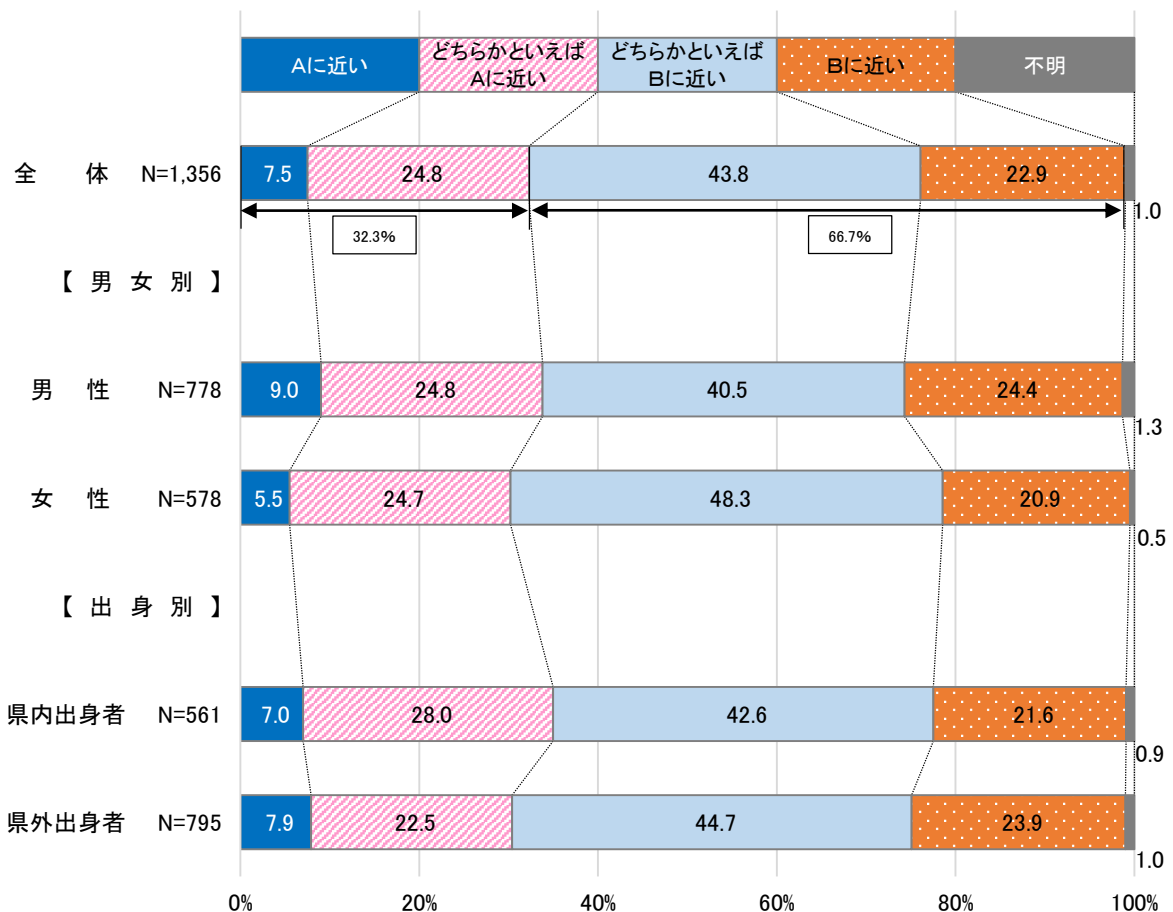
B：ほどほどの収入でも余暇を楽しむ生活をしたい

全体の6割強は、「ほどほどの収入でも余暇を楽しむ生活をしたい」という考え方に近い

収入と余暇のバランスについて、「A:余暇を犠牲にしても、経済的に豊かな生活をしたい」、「B:ほどほどの収入でも余暇を楽しむ生活をしたい」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「どちらかといえばBに近い」が43.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばAに近い」が24.8%となっている。「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」22.9%の計は66.7%となり「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」7.5%の計より34.4ポイント多くなっている。

男女別にみると、女性は、「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」20.9%の計は69.2%となり、男性に比べて4.3ポイント多くなっている。

図 1-7-3 収入と余暇のバランス



④仕事と家庭・趣味のバランス

A：家庭や趣味よりも、仕事を優先に生活したい

B：仕事よりも、家庭や趣味を優先した生活をしたい

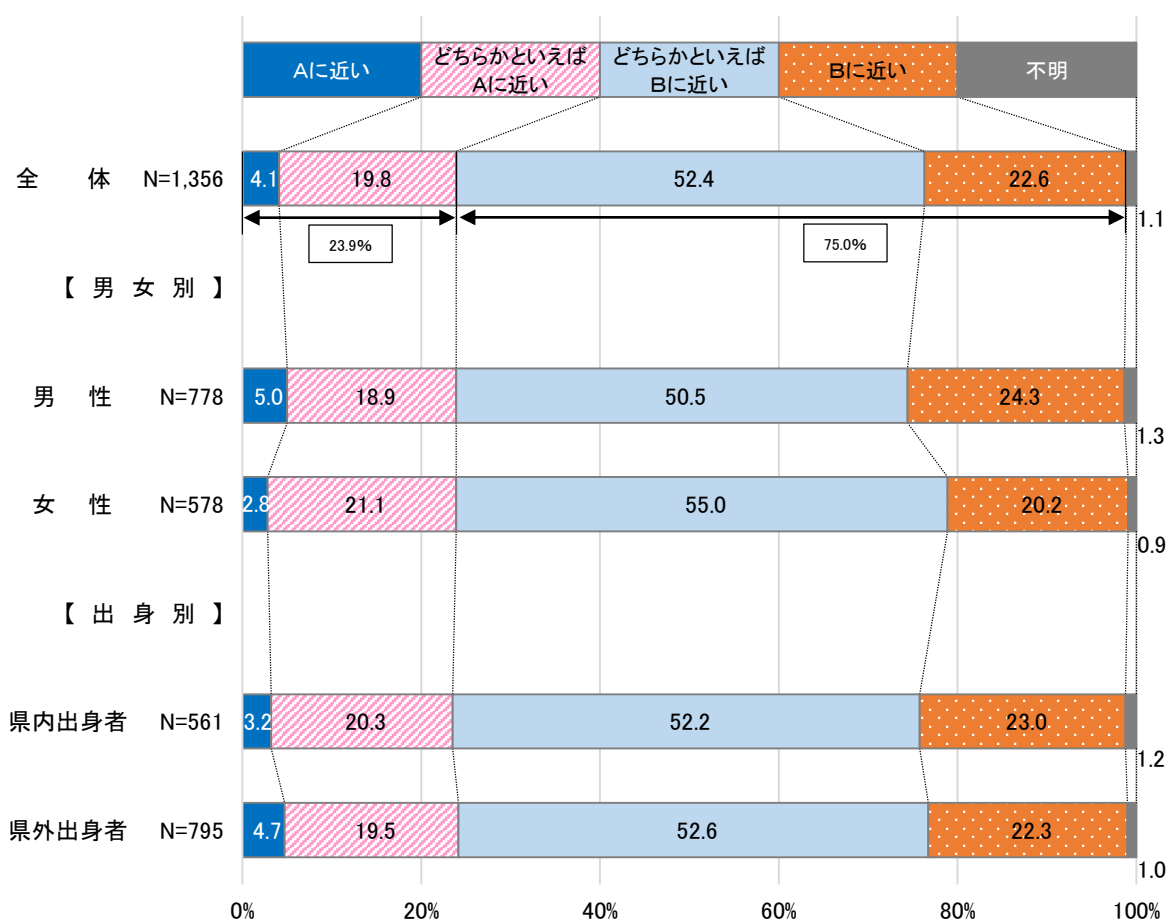
全体の7割強は、「仕事よりも、家庭や趣味を優先した生活をしたい」という考え方に近い

仕事と家庭・趣味のバランスについて、「A:家庭や趣味よりも、仕事を優先に生活したい」、「B:仕事よりも、家庭や趣味を優先した生活をしたい」のどちらの意見に近いかを尋ねたところ、「どちらかといえばBに近い」が52.4%と最も多く、次いで「Bに近い」が22.6%となっている。

「どちらかといえばBに近い」「Bに近い」の計は75.0%となり、「どちらかといえばAに近い」「Aに近い」4.1%の計より51.1ポイント多くなっている。

男女別にみると、「Bに近い」は男性が24.3%と女性より4.1ポイント高いが、「どちらかといえばBに近い」は女性が55.0%と男性より4.5ポイント多くなっている。

図 1-7-4 仕事と家庭・趣味のバランス



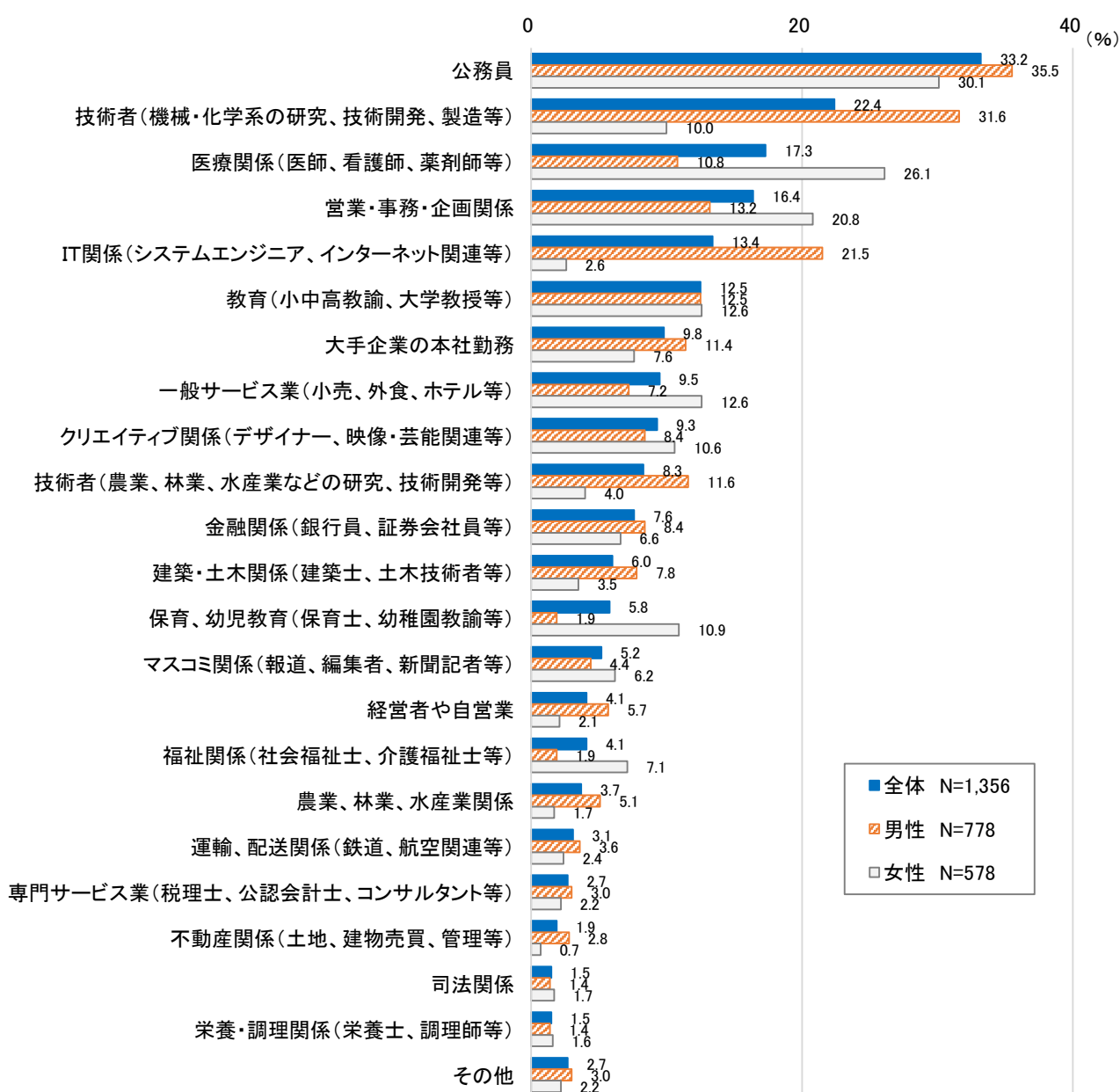
(8) 卒業後に就きたい仕事(職業・職種)

Q8. 希望する職業・職種を選んでください。

全体の3割強は「公務員」を希望している

希望する職業・職種を尋ねたところ、「公務員」が33.2%と最も多く、次いで「技術者(機械・化学系の研究、技術開発、製造等)」が22.4%、「医療関係(医師、看護師、薬剤師等)」が17.3%、「営業・事務・企画関係」が16.4%、「IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等)」が13.4%となっている。

図 1-8 卒業後に就きたい仕事(職業・職種) N=1,356 【複数回答】(該当するものすべて)



(9) 卒業後に就きたい仕事(事業形態・規模)

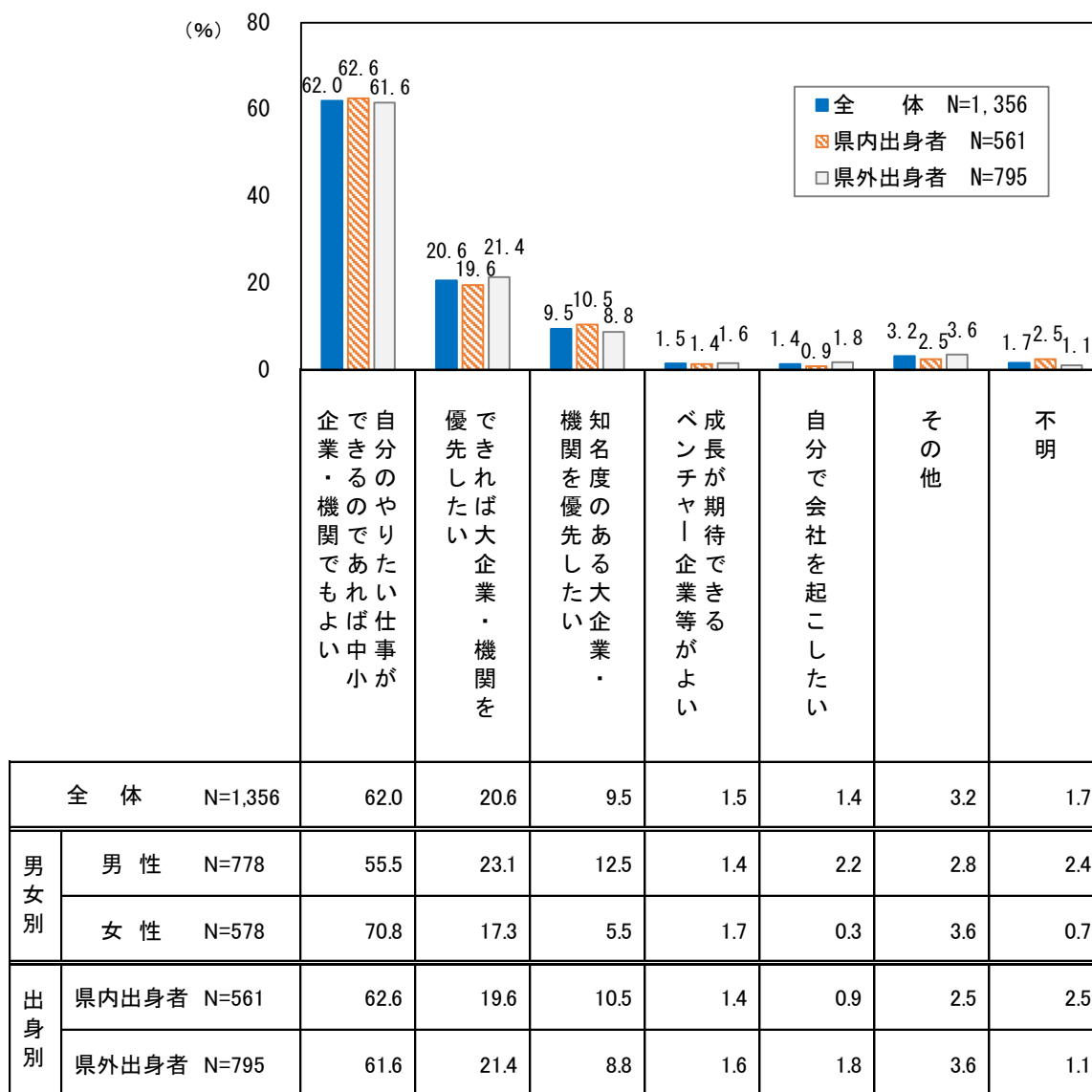
Q9. 希望する就職先の事業形態・規模について、現在の考えに最も近いものを選んでください。

全体の6割が「自分のやりたい仕事ができるのであれば中小企業・機関でもよい」と考えている

希望する就職先の事業形態・規模を尋ねたところ、「自分のやりたい仕事ができるのであれば中小企業・機関でもよい」が62.0%と最も多く、次いで「できれば大企業・機関を優先したい」が20.6%、「知名度のある大企業・機関を優先したい」が9.5%となっている。

男女別にみると、女性は、「自分のやりたい仕事ができるのであれば中小企業・機関でもよい」が70.8%と男性に比べて15.3ポイント多くなっている。

図 1-9 卒業後に就きたい仕事(事業形態・規模) N=1,356



(10) 卒業後の就職地の希望

Q10. 希望する就職地についてあてはまるものを選んでください。

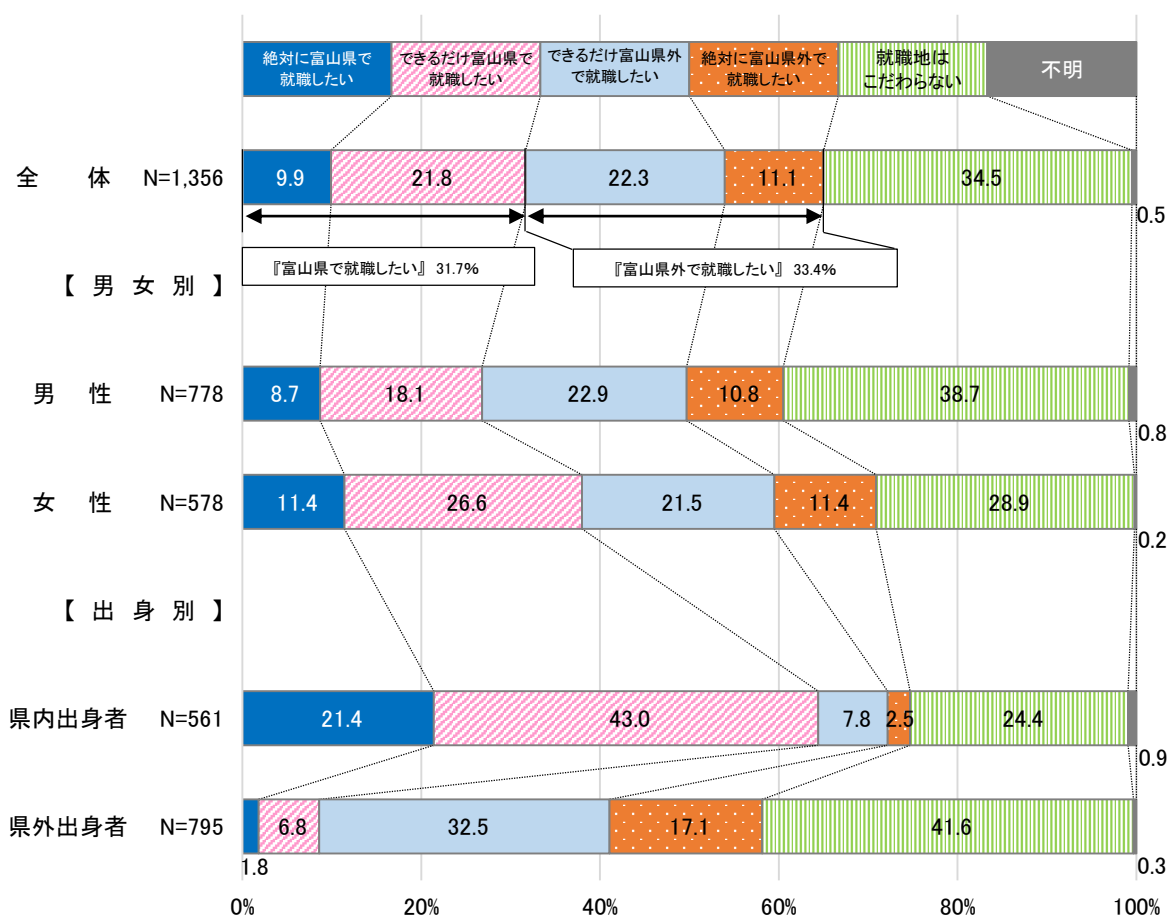
県内出身者の 6 割強が富山県内の就職を希望し、県外出身者の約 5 割が県外での就職を希望している

希望する就職地を尋ねたところ、「絶対に富山県で就職したい」が 9.9%、「できるだけ富山県で就職したい」が 21.8%、「できるだけ富山県外で就職したい」が 22.3%、「絶対に富山県外で就職したい」が 11.1%、「就職地はこだわらない」が 34.5%となっている。

男女別にみると、男性は、「就職地はこだわらない」が 38.7%と女性に比べて 9.8 ポイント多くなっており、一方、女性は『富山県で就職したい(「絶対に富山県で就職したい」+「できるだけ富山県で就職したい」)』が 38.0%と男性に比べて 11.2 ポイント多くなっている。

出身別にみると、県内出身者は、『富山県で就職したい』が 64.4%となっており、県外出身者の 49.6%が県外での就職を希望している。

図 1-10 卒業後の就職地の希望



(11) 県内就職を希望する理由

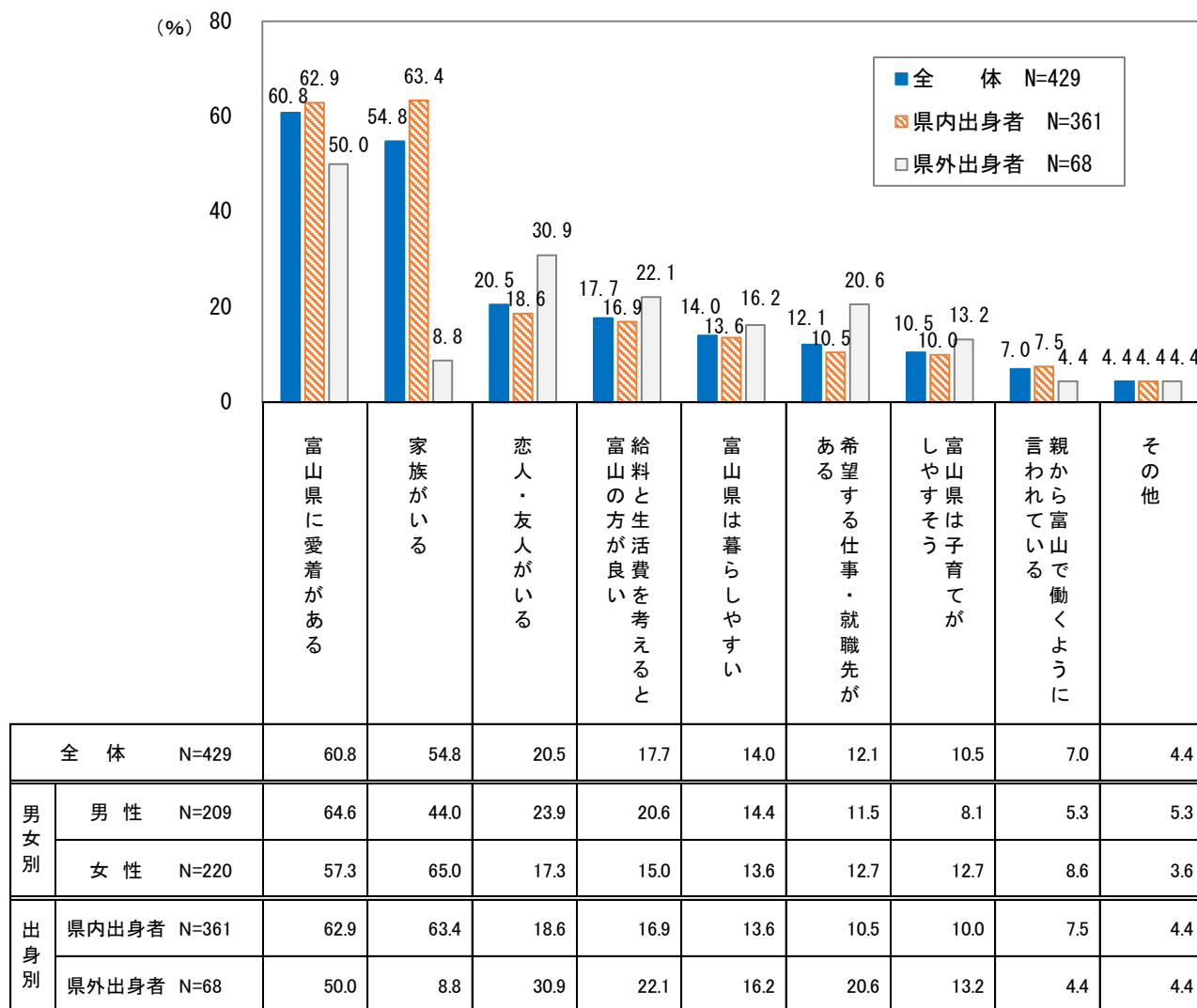
Q11. 富山県での就職を希望する理由は何ですか。

県内就職希望者の6割が「富山県に愛着がある」を理由としている

Q10 において、「絶対に富山県で就職したい」、「できるだけ富山県で就職したい」と回答した 429 人に県内就職を希望する理由を尋ねたところ、「富山県に愛着がある」が 60.8%、「家族がいる」が 54.8%、「恋人・友人がいる」が 20.5%、「給料と生活費を考えると富山の方が良い」が 17.7%、「富山県は暮らしやすい」が 14.0%となっている。

出身別にみると、県内出身者は「家族がいる」が 63.4%と最も多く、次いで「富山県に愛着がある」が 62.9%となっている。県外出身者は、「恋人・友人がいる」30.9%が「富山県に愛着がある」50.0%に次いで 2 番目に多くなっている。

図 1-11 県内就職を希望する理由 N=429 【複数回答】(該当するもの3つまで)



(12) 県外就職を希望する理由

Q12. 県外就職を希望する理由は何ですか。

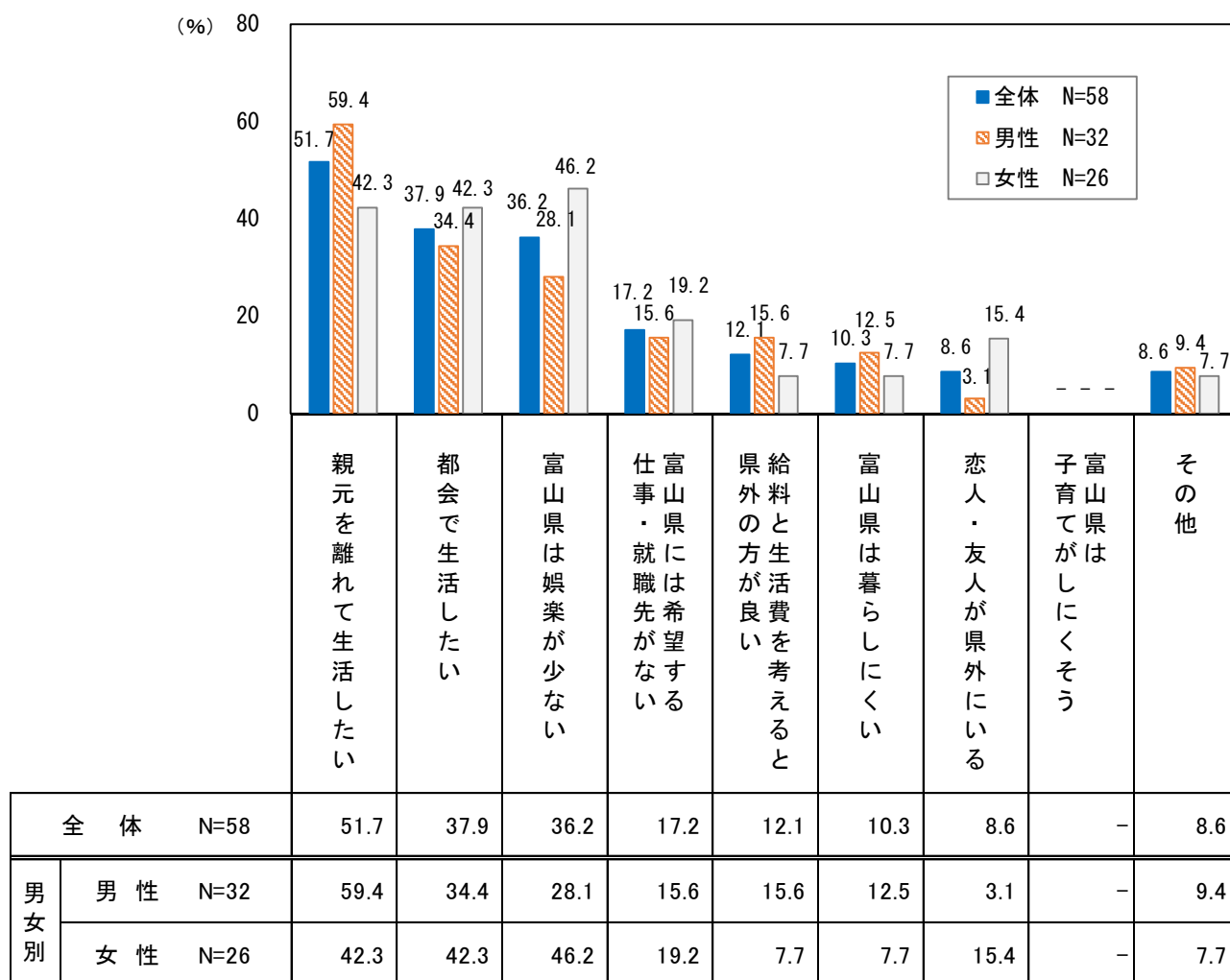
① 県内出身者

県外就職を希望する県内出身者の5割が「親元を離れて生活したい」と考えている

Q10 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」と回答した県内出身者 58 人に県外での就職を希望する理由を尋ねたところ、「親元を離れて生活したい」が 51.7%と最も多く、次いで「都会で生活したい」が 37.9%、「富山県は娯楽が少ない」が 36.2%となっている。

男女別にみると、男性は「親元を離れて生活したい」、「給料と生活費を考えると県外の方が良い」、「富山県は暮らしにくい」が女性に比べて多く、一方、女性は、「富山県は娯楽が少ない」、「都会で生活したい」、「富山県には希望する仕事・就職先がない」等が男性に比べて多くなっている。

図 1-12-1 県外就職を希望する理由(県内出身者) N=58 【複数回答】(該当するもの3つまで)



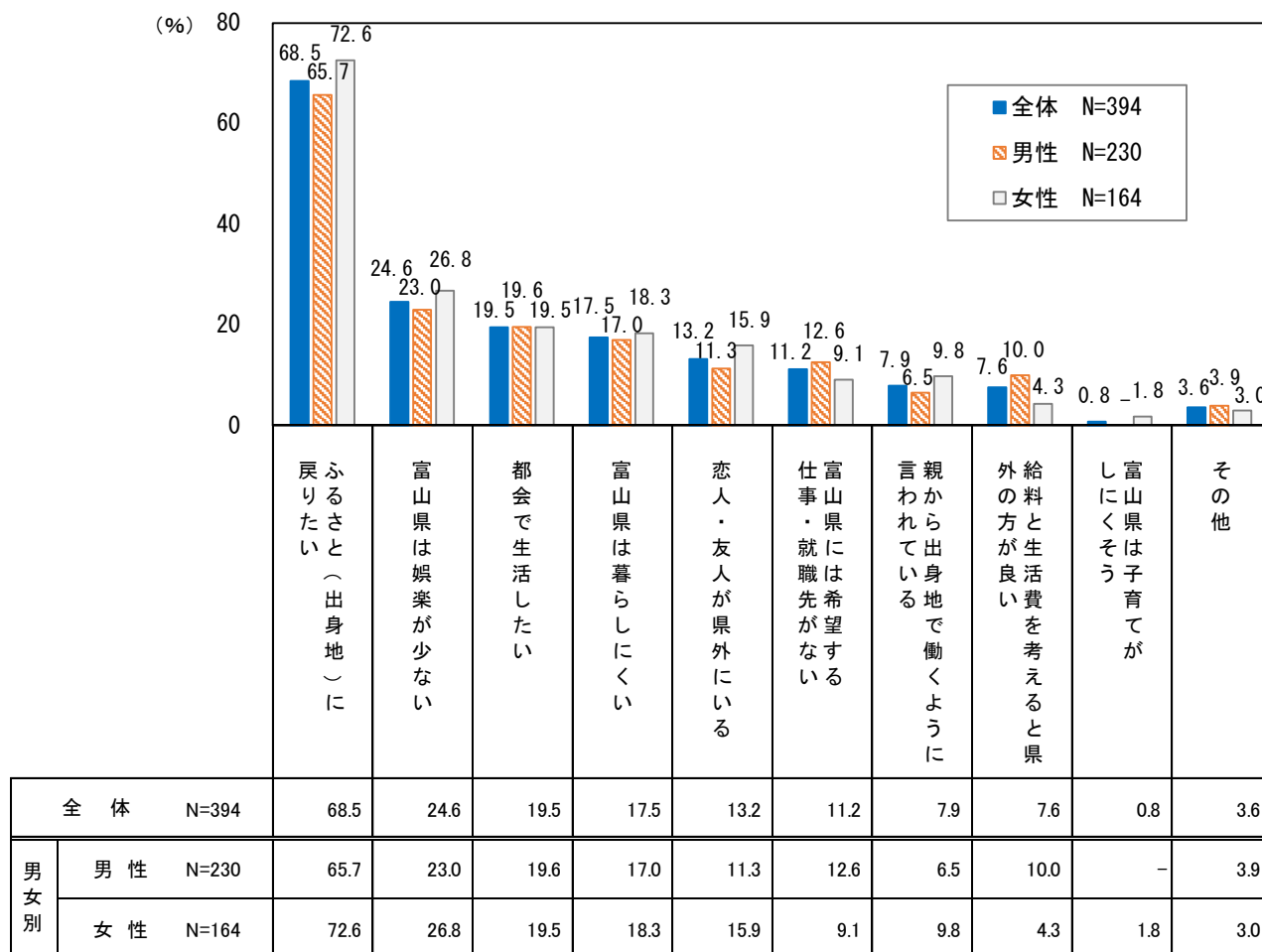
② 県外出身者

県外就職を希望する県外出身者の約7割が「ふるさと(出身地)に戻りたい」と考えている

Q10 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」と回答した県外出身者394人に県外就職を希望する理由を尋ねたところ、「ふるさと(出身地)に戻りたい」が68.5%と最も多く、次いで「富山県は娯楽が少ない」が24.6%、「都会で生活したい」が19.5%、「富山県は暮らしにくい」が17.5%、「恋人・友人が県外にいる」が13.2%となっている。

男女別にみると、男性は、「富山県には希望する仕事・就職先がない」、「給料と生活費を考えると県外の方が良い」が女性に比べて多く、一方、女性は、「ふるさと(出身地)に戻りたい」、「富山県は娯楽が少ない」、「恋人・友人が県外にいる」等が男性に比べて多くなっている。

図 1-12-2 県外就職を希望する理由(県外出身者) N=394 【複数回答】(該当するもの3つまで)



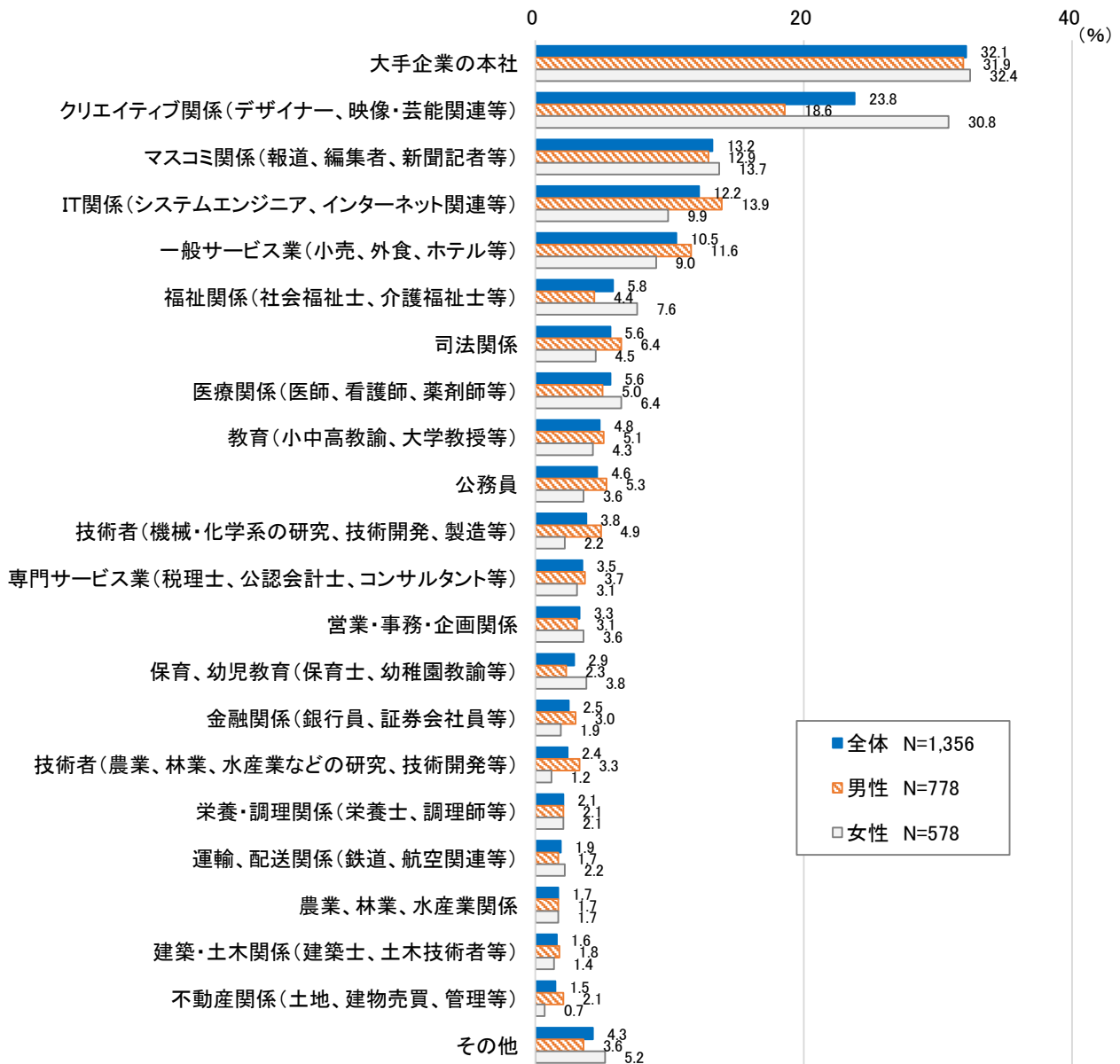
(13) 富山県に不足していると思う職場

Q13. 富山県にはどのような職場が不足していると思いますか。

富山県に不足していると思う職場は、「大手企業の本社」が3割と最も多い

富山県にはどのような職場が不足していると思うかを尋ねたところ、「大手企業の本社」が32.1%と最も多く、次いで「クリエイティブ関係(デザイナー、映像・芸能関連等)」が23.8%、「マスコミ関係(報道、編集者、新聞記者等)」が13.2%、「IT関係(システムエンジニア、インターネット関連等)」が12.2%、「一般サービス業(小売、外食、ホテル等)」が10.5%となっている。

図 1-13 富山県に不足していると思う職場 N=1,356 【複数回答】(該当するもの3つまで)



(14) 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか(県外就職希望者)

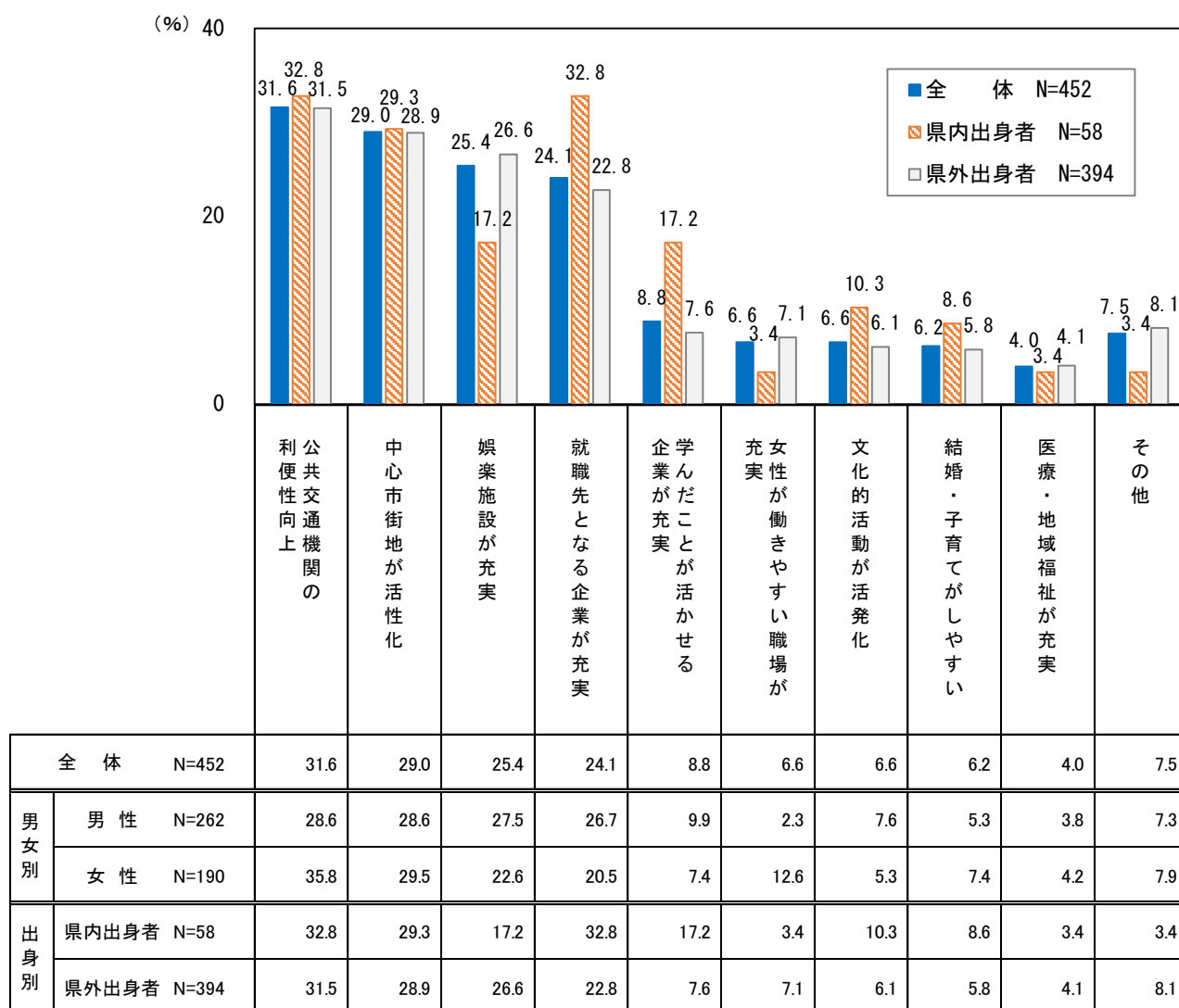
Q14. 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思いますか。

富山県に求めるものは、「公共交通機関の利便性向上」が最も多い

Q10 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」と回答した 452 人に富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うかを尋ねたところ、「公共交通機関の利便性向上」が 31.6%と最も多く、次いで「中心市街地が活性化」が 29.0%、「娯楽施設が充実」が 25.4%となっている。

出身別にみると、県内出身者は、「就職先となる企業が充実」が 32.8%と県外出身者に比べて 10.0 ポイント多くなっている。

図 1-14 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか N=452 【複数回答】(該当するもの2つまで)



(15) 将来富山県に戻る意思

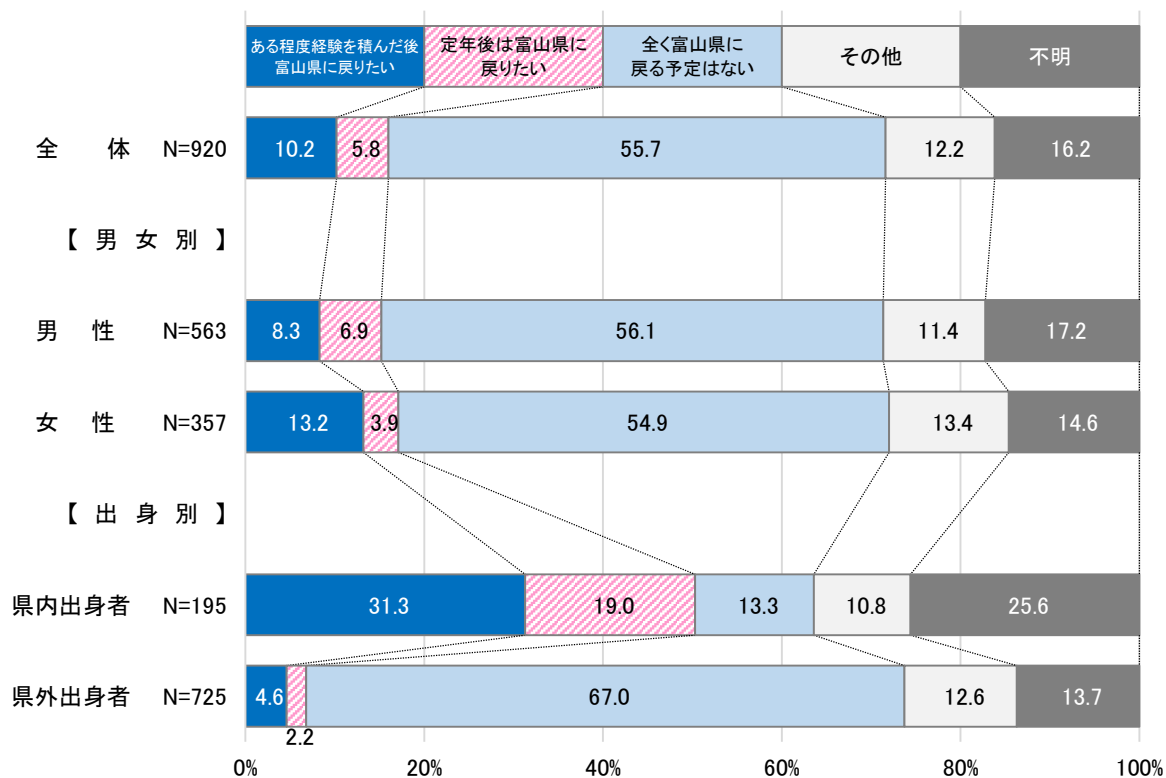
Q15. 将来的に富山県に戻る意思はありますか。

富山県での就職を希望していない県内出身者の5割は、将来富山県に戻りたいと考えている

Q10 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」、「就職地はこだわらない」と回答した920人に将来富山県に戻る意思があるかを尋ねたところ、「ある程度経験を積んだ後富山県に戻りたい」が10.2%、「定年後は富山県に戻りたい」が5.8%、「全く富山県に戻る予定はない」が55.7%となっている。

出身別にみると、県内出身者は、「ある程度経験を積んだ後富山県に戻りたい」が31.3%、「定年後は富山県に戻りたい」が19.0%となっており、5割が将来的に富山県へ戻りたいと考えている。一方で、県外出身者の67.0%は「全く富山県に戻る予定はない」としている。

図 1-15 将来富山県に戻る意思



(16)富山県にあればいいと思うもの(自由記述)

Q16. 富山県にあればいいと思うものを教えてください。

娯楽施設の設置や公共交通機関の利便性向上を望む意見が多く見られる

富山県にあればいいと思うものを尋ねたところ、娯楽施設に関連するものと公共交通機関に関連する意見・要望が多く見られた。

具体的には、遊園地・テーマパークやショッピングセンターがあればいいという意見や公共交通機関の利便性を向上してほしいという意見があった。

主な意見・要望等

【施設】

- ・娯楽施設
- ・アミューズメントパーク、テーマパーク、遊園地
- ・レジャー施設
- ・ショッピングセンター
- ・デパート
- ・洋服店
- ・スポーツセンター
- ・ライブ会場
- ・書店
- ・図書館
- ・駐車場

【交通機関】

- ・公共交通機関の利便性の向上
(交通網の発達、電車・バスの増便、低価格化、運行時間の延長)
- ・地下鉄

【その他】

- ・駅、大学周辺の活性化
- ・TVのチャンネル数の増加
- ・プロ野球やプロサッカーチーム

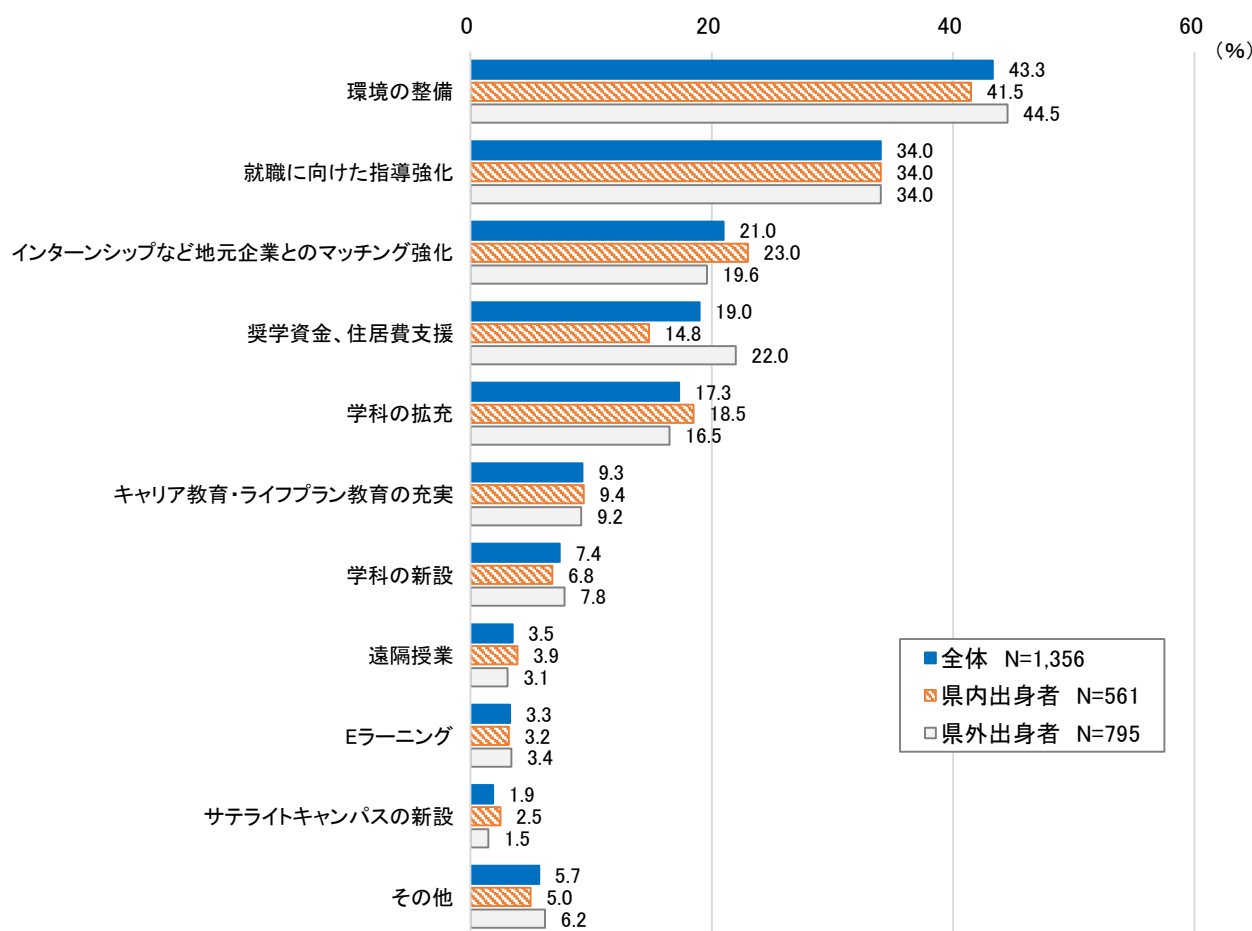
(17)現在通っている大学に期待すること

Q17. 現在通っている大学に期待することは何ですか。

全体の4割強が、現在通っている大学の「環境の整備」に期待している

現在通っている大学に期待することを尋ねたところ、「環境の整備」が43.3%と最も多く、次いで「就職に向けた指導強化」が34.0%、「インターンシップなど地元企業とのマッチング強化」が21.0%、「奨学資金、住居費支援」が19.0%、「学科の拡充」が17.3%となっている。

図 1-16 現在通っている大学に期待すること N=1,356 【複数回答】(該当するもの3つまで)



○具体的な内容(主なもの)

【環境の整備】

- ・食堂、売店の充実(メニュー、営業時間)
- ・大学周辺の活性化
- ・インターネット環境の整備
- ・古い校舎の整備
- ・駐車場の増設
- ・図書館の充実(蔵書、広さ、開館時間)
- ・空調設備

【学科の拡充・新設】

- ・法学部、文系学部などの設置

(18)大学コンソーシアム富山に期待すること

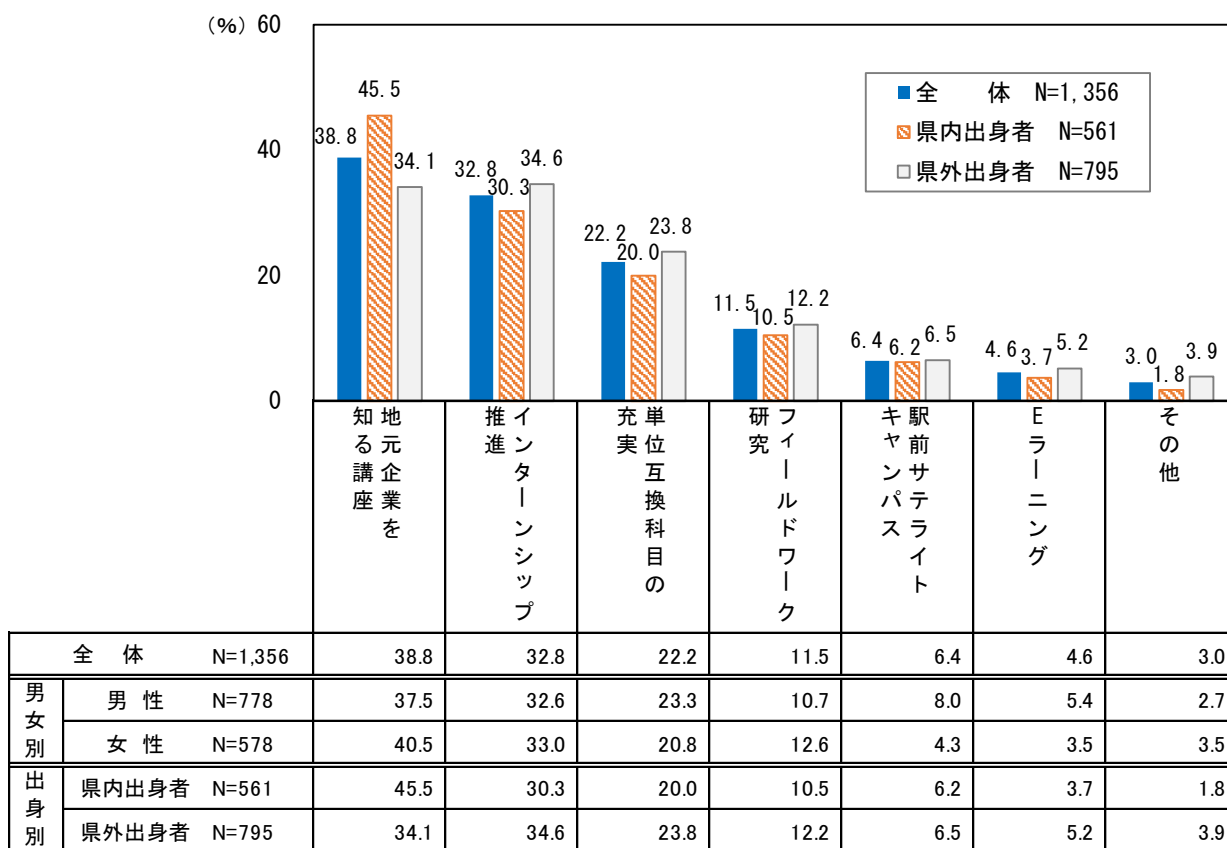
Q18. 県内7高等教育機関が連携する「大学コンソーシアム富山」は、平成 25 年 4 月の開設以来、各機関の知の資源を活かし、大学間の単位互換、リーダー研修などの教育に関する事業のほか、地域課題解決、産学官金ネットワーク会議開催などの地域貢献事業を行っています。今後、大学コンソーシアム富山に期待すること、充実してほしい事業などがあれば教えてください。

全体の約 4 割は、「地元企業を知る講座の充実」を大学コンソーシアム富山に望んでいる

大学コンソーシアム富山に期待すること、充実してほしい事業を尋ねたところ、「地元企業を知る講座」が 38.8%と最も多く、次いで「インターンシップ推進」が 32.8%、「単位互換科目の充実」が 22.2%となっている。

出身別にみると、県内出身者は、「地元企業を知る講座」が 45.5%と県外出身者に比べて 11.4 ポイント多くなっている。県外出身者は、「インターンシップ推進」が 34.6%と県内出身者に比べて 4.3 ポイント多くなっている。

図 1-17 大学コンソーシアム富山に期待すること N=1,356 【複数回答】(該当するものすべて)



- 具体的な内容 (主なもの)
- ・他大学の学生との交流を深めたい
 - ・地元企業をもっと知りたい
 - ・単位互換科目が増えれば学ぶ意識も向上する
 - ・もっと広報活動に力を入れるべき